

剣淵町 学校施設の長寿命化計画

平成 30 年 3 月

剣淵町教育委員会

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

① 背景

剣淵町（以下「本町」）の学校施設は、昭和 40 年代から 60 年代前半にかけ整備され、全公共施設面積の 21.8%※の面積を有しています。また、小中学校の児童・生徒数は 60 年代以降急激な減少がみられ、現在に至っています。

施設状況としては、小学校及び中学校、高校体育館の耐震改修の他、高校の防水やトイレ改修、中学校のトイレ改修を実施していますが、今後も予測されている老朽化改修が維持管理における課題となっています。

また、今後の大規模な改修や建替えには多額の費用が必要になると考えられており、適正な施設管理が課題となっています。

② 目的

「剣淵町学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」）は、上記背景を踏まえ、今後の大規模改修や更新期対応として、教育環境の質的改善も考慮しつつ、改修の優先順位に基づき、長寿命化によるコスト削減を図る 40 年間の長期方針と、今後 10 年間の具体的な整備計画を立てることを目的とします。

なお、本計画は、剣淵町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）に基づく学校施設の個別施設計画と位置付けるとともに、今後の学校施設整備計画は本計画に基づき策定することとします。

また本計画は、剣淵町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）に基づく学校施設の個別施設計画と位置付けます。

※：『剣淵町公共施設等総合管理計画』より

③ 計画期間

計画期間は平成 30 年度から平成 39 年度までの 10 年間とします。
ただし、計画期間内においても、必要に応じて適宜見直すこととします。

④ 対象施設

本町の主な学校施設は、小学校 1 校（昭和 47 年から 6 校あった小学校の統合が進められ、昭和 53 年 4 月に現小学校 1 校へ統合）、中学校 1 校（2 校あった中学校は昭和 53 年 4 月から 1 校へ統合）、高校 1 校（昭和 26 年士別高校の分校として開校、翌年剣淵村立高校として独立、現校舎は昭和 63 年建設）、及び町給食センターです。

また、高校の実験実習農場の施設 8 棟についても、今後の整備方針について検討の対象とすることとします。

■対象施設一覧

学校	
小学校	1 校
中学校	1 校
高校	1 校

学校給食センター	
剣淵町学校給食センター	1 施設

(2) 学校施設の目指すべき姿

本町における学校施設に関する取組みは〈教育行政の方針〉と、〈公共施設等の方針〉を実現目標とします。

① 教育行政の方針※

本町の教育・文化の振興に関する施策の目標と方針は「教育大綱」に示され、その具体的な教育の振興に関する全体像は「剣淵町教育振興基本計画」に示されています。

本計画においては、4つの基本方針を踏まえ、その実現を目指します。

□平成 28 年 2 月 教育大綱

□平成 29 年度 剣淵町教育振興基本計画

○4つの基本方針

1. 自ら学び 社会で自立して 共に生きる力を育てます
2. 多様な学びを支える教育環境を整えます
3. 地域ぐるみで子どもを育てます
4. 町民が学びあい 支え合う ふるさとづくりを進めます

② 公共施設等の方針

本町の公共施設等の管理や整備に関わる基本的な方針は、「剣淵町公共施設等総合管理計画」に示され、学校教育系施設については、以下のとおりとなっています。

本計画においては、今後の学校施設整備に関する基本的な方針として踏まえ、その実現を目指します。

■剣淵町公共施設等総合管理計画

「9章施設類型毎の管理に関する基本的な方針」抜粋

- ・学校教育系施設は、災害時において応急対策活動の拠点となることに加え、一部避難所としての利用も想定されるため、これら施設の安全化及び施設機能の確保を図ります。
 - ・小学校及び中学校の施設は、築 40 年を経過しており、大規模改修からも 20 年を経過し、老朽化が著しく、施設の早期改修が必要となっています。今後は、小学校・中学校給食センター等の施設を併せて長寿命化計画を策定し、早期の着工を進めていきます。
 - ・高等学校の校舎は改築後 27 年を経過し、施設の改修が必要となってきました。今後は長寿命化計画を策定し、改修の検討をします。
- また、高等学校温室や高等学校農業実習室・高等学校寄宿舎等は、老朽化が進んでいますが、日常での点検、補修及び設備更新等、適切な維持管理に努めます。

※参考資料：■剣淵町教育大綱、■剣淵町教育振興基本計画

③ 学校施設の目指すべき姿

学校施設の目指すべき姿は、〈教育行政の方針〉において示された教育方針を前提としつつ、今後の学校施設整備の取組みにおいて実現すべき目標像となります。

文部科学省の諮問会議等において示された「安全性」、「快適性」、「学習活動への適応性」、「環境への適応性」、「地域の拠点化」等の観点※も踏まえ、次のとおりとします。

学校施設の目指すべき姿	
1. 「安全性」	安全・安心の学校
○災害対策を備えた学校 ○防犯対策を備えた学校 ○事故防止対策が安心な学校 ○健康対策に安心な学校	
2. 「快適性」	快適な生活学習環境の学校
○快適な学習環境の学校 ○教職員に配慮した環境の学校	
3. 「学習活動への適応性」	教育学習活動の充実化に対応できる学校
○主体性を養う空間を充実する学校 ○適切な学習スペースを確保する学校 ○学習環境を質的に充実する学校 ○学校図書館を多様に活用する学校 ○情報環境を整備充実する学校 ○食育を充実する学校 ○特別支援教育を推進する学校	
4. 「環境への適応性」	環境配慮の学校
○環境教育を充実する学校	
5. 「地域の拠点化」	地域の拠点機能を備えた学校
○地域と連携する学校	

※参考資料:「学校施設整備基本構想のあり方について(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議平成 25 年3月)」

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧

本町には公立の小学校及び中学校が各 1 校、町立の総合学科高校が 1 校となっています。
小、中、高校併せた施設面積は 12,533.0 m²です。

平成 29 年 5 月 1 日現在の児童数・生徒数は以下のとおりです。

■施設概要 [平成29年5月1日現在]

名称	住所	延床面積 (m ²)	建設年度	児童・生徒数		学級数	
				通常学級	特別支援	通常学級	特別支援
剣淵小学校	剣淵町西町23-1	4,182.0	昭和48・49	129	8	6	4
剣淵中学校	剣淵町西町20-1	4,653.0	昭和52・53	76	1	3	1
剣淵高校	剣淵町仲町22-1	3,698.0	昭和43・63	88		3	—
合計		12,533.0		293	9	12	5

2) 児童生徒数及び学級数の変化

<児童生徒数>

単位：人

	これまでの推移 ()内特別支援学級数								
	1978	1982	1987	1992	1997	2002	2007	2012	2017
	昭和 53	57	62	平成 4	9	14	19	24	29
小学校児童数	491 (4)	480 (5)	395 (2)	317 (1)	221 (1)	198 (3)	168 (5)	168 (2)	137 (8)
中学校生徒数	264 (6)	236 (3)	234	185 (2)	148	125 (1)	91 (4)	83 (3)	77 (1)
高校生徒数			115	87	89	113	88	93	88
合計	755	716	629	502	369	323	259	251	214

<学級数>

単位：学級

	これまでの推移 ()内特別支援学級数								
	1978	1982	1987	1992	1997	2002	2007	2012	2017
	昭 53	57	62	平成 4	9	14	19	24	29
小学校	13 (1)	12 (1)	12 (1)	12 (1)	9 (1)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (4)
中学校	7 (1)	6 (1)	6 (0)	6 (2)	6 (0)	5 (1)	3 (3)	3 (2)	3 (1)
高校			3	3	3	3	3	3	3
合計	22 (2)	20 (2)	19 (1)	21 (3)	16 (1)	14 (3)	14 (5)	13 (4)	14 (5)

イ) 小学校

児童数は、平成 29 年 5 月 1 日現在、137 人（特別支援学級 8 名を含む）です。小学校統合時点（昭和 53 年）の児童数 491 人の 3 割弱となっています。普通学級数は統合時点の 13 学級から半数の 6 学級となっています。現在の特別支援学級は 4 学級 8 名です。

ロ) 中学校

生徒数は、平成 29 年 5 月 1 日現在、77 人（特別支援学級 1 名を含む）で、昭和 53 年の生徒数 264 人の 3 割弱となっています。普通学級数は昭和 53 年時点の 7 学級から半数の 3 学級です。現在の特別支援学級は 1 学級 1 名です。

ハ) 高校

現校舎新設時（平成元年）の生徒数は 115 人でしたが、その後ほぼ 90 人前後で推移し、学級数は 3 学級となっています。今後は、総合学科の特徴を活かした生徒確保が課題となっています。

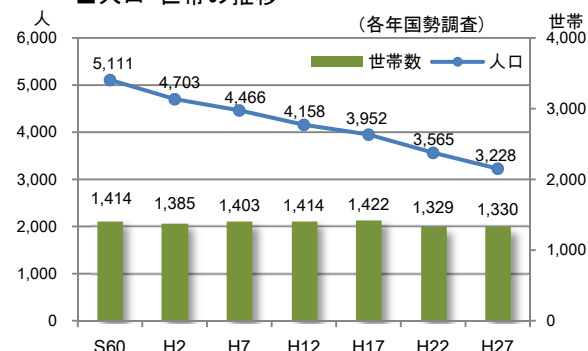
3) 学校施設の配置状況

イ) 地域状況

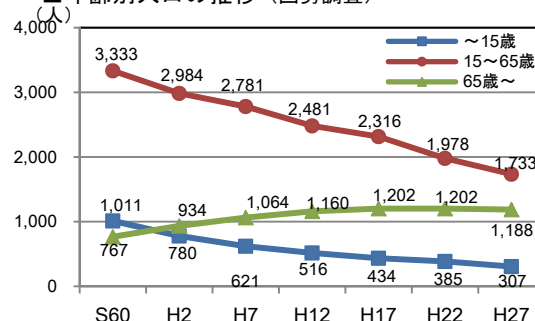
小学校、中学校および高校は、人口・世帯減少、少子高齢化が進む本町における、唯一無二の教育拠点であり、主要な地域拠点となっています。



■人口・世帯の推移



■年齢別人口の推移 (国勢調査)



ロ) 位置について

- ・小学校、中学校、高校、給食センターは全て剣淵市街地に位置しています。
- ・剣淵小学校は、商店街大通り西端に位置し、道道温根別剣淵停車場線に面しています。敷地内に町学校給食センター及び学童保育所が立地しています。
- ・中学校は、市街地西端部に位置し、小学校から北に約 300m の距離にあります。町道麦生通に面しています。
- ・高校は、大通り商店街から北に約 300m 程度の距離にあり、町道北 5 条に面しています。町道 2 丁目通りを挟んで、学校敷地と農場が隣接しています。

■建物位置図



4) 施設関連経費の推移

過去5年間の学校教育施設の施設関連経費は、年間約3,000万円から9,000万円で、5年間の平均は5,500万円となります。

イ) 施設関連経費の内容

- ・施設整備費 : トイレ改修、照明LED化など : 年間2,300万円程度
- ・その他施設整備費 : 太陽光パネルや、壁画パネルの設置等ばらつきはあるものの
平均して年間700万円程度
- ・維持修繕費 : 外壁改修、防水改修等 : 平均して年間200万円程度
- ・光熱費等 : 年平均2,300万円程度
- ・合計 : 年平均5,500万円程度

■ 近年5年間の施設関連経費の推移

(円)

	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	5年平均
施設整備費	20,296,500	18,147,000	4,141,800	3,812,400	69,940,800	23,267,700
その他 施設整備費	27,510,000	0	0	7,830,000	0	7,068,000
維持修繕費	1,589,150	2,362,500	4,374,000	0	2,998,080	2,264,746
光熱水費・ 委託費等	23,050,799	23,735,942	24,945,864	20,481,674	21,895,957	22,822,047
施設関連経 費合計	72,446,449	44,245,442	33,461,664	32,124,074	94,834,837	55,422,493

5) 学校施設の保有量

学校施設の保有量は全体で4施設8棟、14,553㎡※となっています。

各基準別保有量は以下のとおりです。

イ) 経年別保有量

- ・50年以上経過した建物はなく、築40年以上の建物が4棟(8,703㎡・約60%)、30年以上の建物が6棟(10,195㎡・約70%)、20年以上の建物が7棟(12,895㎡・90%)となっています。

ロ) 小中高校別保有量

- ・小学校は校舎・体育館あわせて4,182㎡(29%)となっています。
- ・中学校は校舎・体育館あわせて4,653㎡(32%)となっています。
- ・高校は校舎・体育館・寄宿舎あわせて5,356㎡(37%)となっています。
- ・給食センターは362㎡(2.5%)となっています。

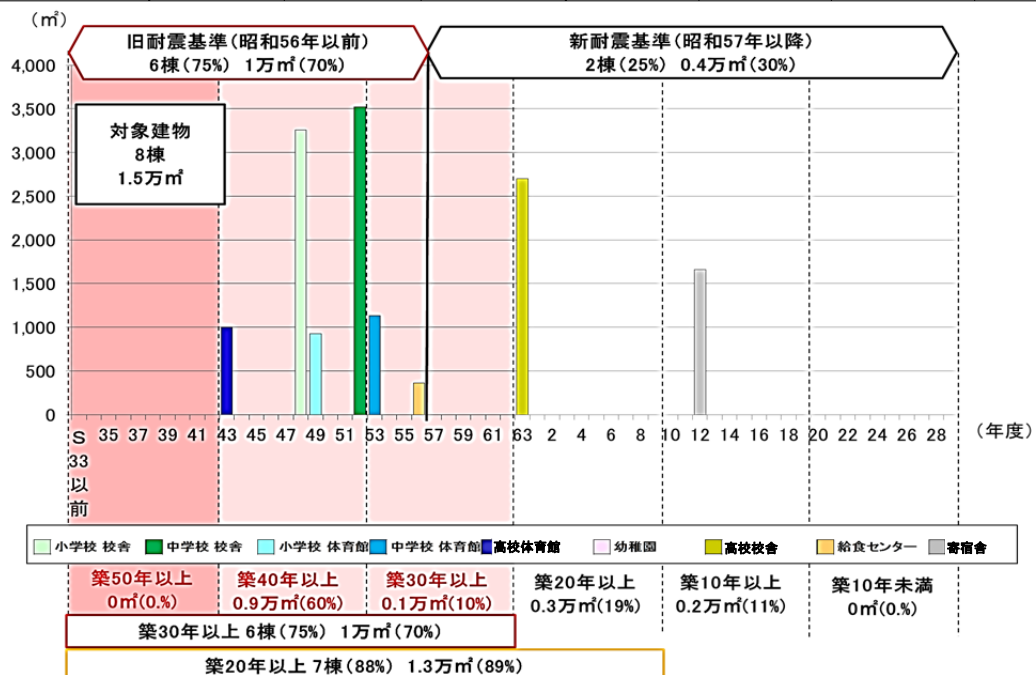
ハ) 耐震基準別保有量

- ・旧耐震基準の施設が6棟(10,195㎡、約70%)、新耐震基準の施設が2棟(4,358㎡)ですが、給食センターを除く校舎・体育館は全て耐震補強済み(100%耐震化)となっています。

■学校施設別建設年度代別保有状況

●:建設

施設	建物	延床面積(㎡)	建設年度	築40年以上	築30年以上	築20年以上	築10年以上	10年未満
小学校	校舎	3,259.0	昭和48・49	●				
	体育館	923.0	昭和49	●				
中学校	校舎	3,523.0	昭和52	●				
	体育館	1,130.0	昭和53		●			
高等学校	校舎	2,700.0	昭和63			●		
	体育館	998.0	昭和43	●				
	寄宿舎	1,658.0	平成12				●	
給食センター		362.0	昭和56		●			
合計		14,553.0						



※: 本計画では学校施設中でも物置や部室など小さな建物は除き、200㎡以上の主な建物を対象としています。

6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

今後も従来のように50年で建替（ここでは同規模での建替）、20年ごとに大規模改造を行うと想定すると、今後40年間ににかかるコストは総額74億円となります。

イ) 今後40年間のコスト

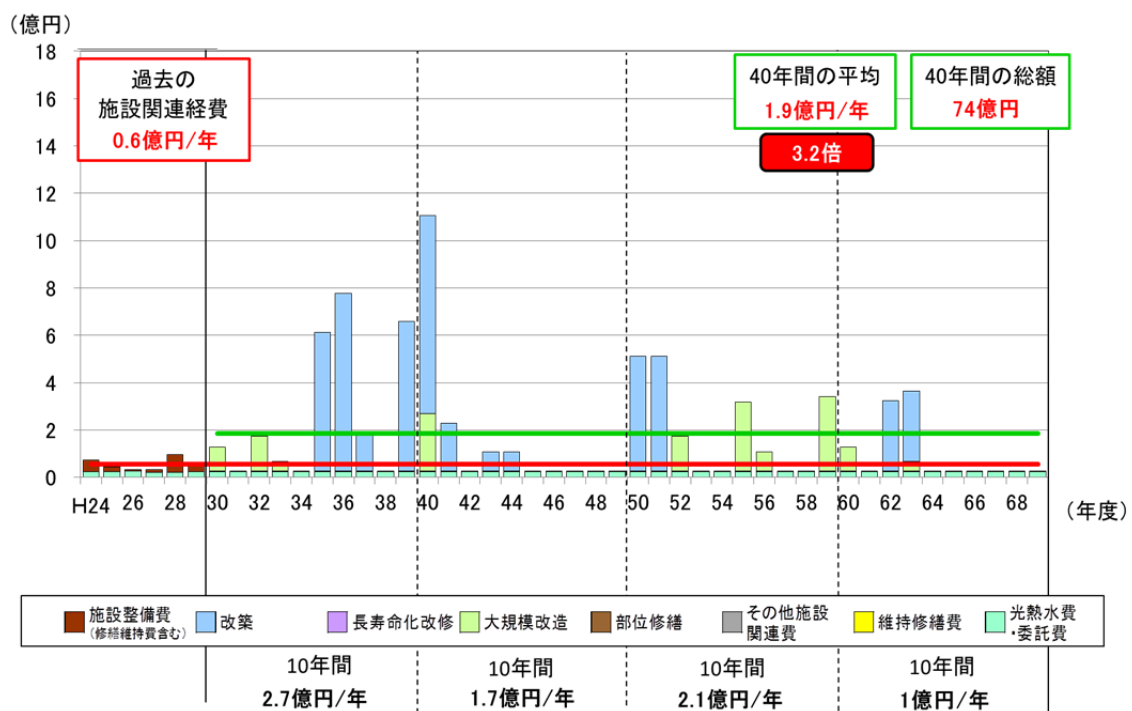
- ・今後40年間の総額は74億円となり、年平均1.9億円となります。

ロ) 直近5年間の施設関連経費との比較

- ・直近5年間の施設整備費（5,500万円）と比較すると、約3倍となります。

ハ) 10年ごとの期間区分でのコスト

- ・小学校（校舎・体育館）の建替、中学校校舎の建替等が集中する平成30年からの10年間が最も多く、年平均2.7億円となります。



② 学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

建物情報一覧表											A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化 B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある											
築50年以上 築30年以上 基準 2017																						
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	構造躯体の健全性					劣化状況評価						備考	
							西暦	和暦		耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)		
										基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ ㎡)								試算上 の区分
1	1616	剣淵小学校	校舎1, 2	RC	2	3,259	1973	S48	45	旧	済	済	H19	19.1	長寿命	D	C	B	C	C	51	H21年耐震改修
2	1616	剣淵小学校	体育館	S	2	923	1974	S49	43	旧	済	済	H19	22.2	長寿命	D	C	B	C	C	51	H21年耐震改修
3	4499	剣淵中学校	校舎	RC	3	3,523	1977	S52	40	旧	済	済	H19	20.5	長寿命	B	B	B	C	C	66	H21年耐震改修
4	4499	剣淵中学校	体育館	S	2	1,130	1978	S53	39	旧	済	済	H19		長寿命	C	B	B	B	B	72	H21年耐震改修
5	5746	剣淵高等学校	校舎	RC	2	2,700	1988	S63	29	新	-	-			長寿命	A	D	B	B	B	59	
6	5746	剣淵高等学校	体育館	S	2	998	1968	S43	49	旧	済	済	H20	寿命化改修済		A	A	B	B	B	84	H23耐震+長
7	5746	剣淵高等学校	寄宿舎	RC	2	1,658	2000	H12	17	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91	H24年増築
8	K092	剣淵町学校給食センター	共同利用施設	S	1	362	1981	S56	36	旧	-	-			改築	D	C	B	D	D	43	

詳細は別紙『計画のための建物情報 2017 年度』

イ) 構造躯体の健全性

- ・旧耐震基準の建物が6棟あります。そのうち5棟（給食センター以外）は全て耐震診断、耐震補強を行い、安全性を確保しています。

ロ) 構造躯体以外の劣化状況評価

- ・建物の経過年数や改修状況、現地調査などの結果を踏まえ、構造躯体以外の劣化状況についても評価し、対応の緊急性を設定しています。

ハ) 総括

各施設の評価総括は以下のとおりです。

■ 小学校

- ・校舎体育館ともに長寿命化改修により活用が可能ですが、躯体以外の劣化が進んでいることから、早急な対応が必要です。

■ 中学校

- ・小学校と同様、校舎体育館ともに長寿命化改修により活用が可能ですが、躯体以外の劣化が進行していることから、早急な対応が必要です。

■ 高校

- ・校舎は2017年に屋上防水の改修工事を行っていますが、外壁は1999年（平成11年）以降改修工事を行っていないこと、現地調査でも劣化箇所が見受けられること等から、早急に外壁改修を行う必要があります。
- ・体育館は、2011年（平成23年）に耐震改修及び長寿命化改修を実施していることから、今後も点検等を実施しながら活用します。

■ 給食センター

- ・早急な改善が必要と判断されます。

2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

〔長寿命化改修を実施した場合の〈今後の維持・管理コスト（長寿命化型）〉の算出〕

今後長寿命化改修中心の保全管理を行い、築後 50 年で長寿命化改修、25 年ごとに大規模改造を行うと想定すると、今後 40 年間でかかるコストは総額 44 億円であり（従来型：74 億円）と比較し、30 億円の縮減となります。

イ) 今後 40 年間のコスト

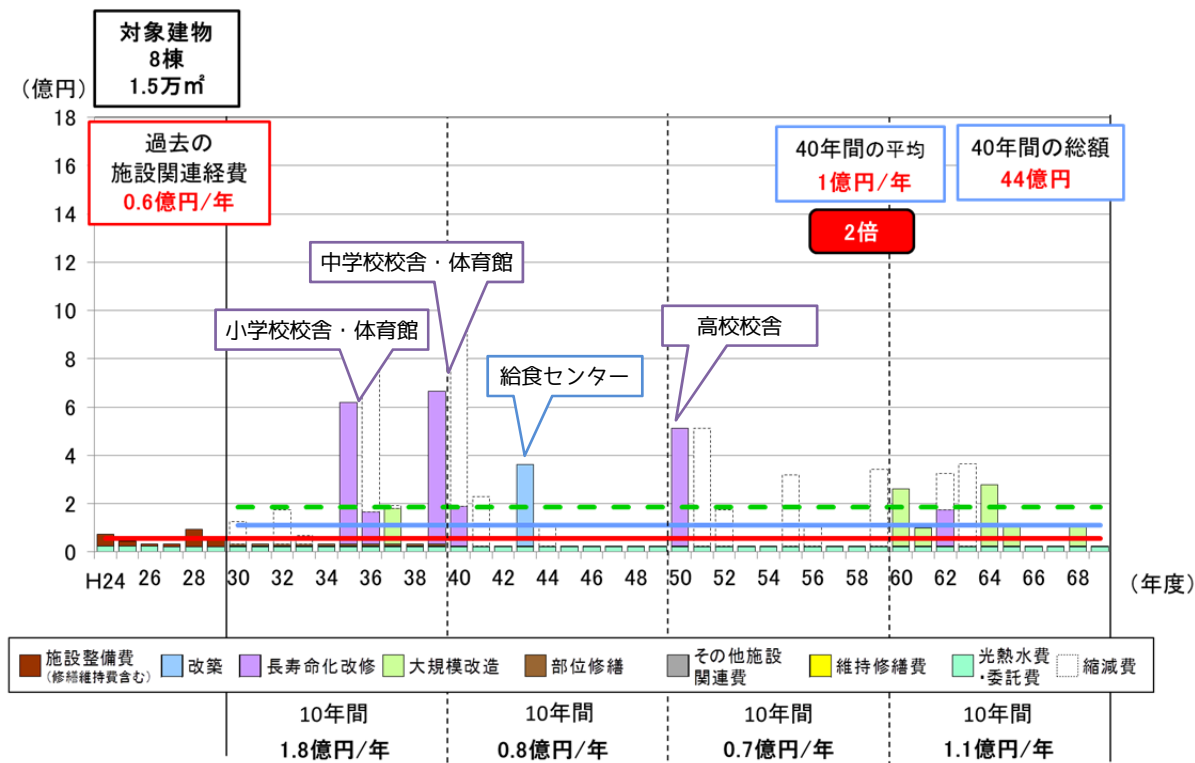
- ・ 総額 44 億円（年間 1 億円）がかかることとなります。
- ・ 従来の建替中心の場合の 74 億円（年間 1.9 億円）に比べて 30 億円、約 4 割のコスト縮減となります。

ロ) 直近 5 年間の施設関連経費との比較

- ・ 直近 5 年間の施設整備費（5,500 万円）の約 2 倍となります。

ハ) 10 年ごとの期間区分でのコスト

- ・ 小学校（校舎・体育館）の建替、中学校校舎の建替等が集中する平成 30 年からの 10 年間で最も多く、年間 1.8 億円となります。



(4) 学校施設整備の基本的な方針等

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

剣淵町公共施設等総合管理計画の〈基本的な考え方〉や〈学校教育系施設の基本的な方針〉を踏まえ、以下のとおりとします。

基本方針
イ) 児童生徒数の減少が予測されることから、<u>学校施設の保有量（延床面積）の適切な調整（縮減）</u>を検討します。 ロ) 構造躯体の健全性が確認された学校施設は、<u>長寿命化改修による有効活用</u>を検討します。 ハ) 児童生徒数が減少した学校施設は、<u>機能の複合化による有効活用</u>を検討します。 ニ) 学校施設を核とした<u>コミュニティ機能のあり方(地域との連携機能等の複合化)</u>を検討します。 ホ) 今後の学校施設の整備展開には、<u>十分な話し合いと時間をかけた合意形成</u>を進めます。
活用方針
①[学校施設] ・ 災害時における応急対策拠点、一時避難所利用を想定した<u>学校施設の安全化及び施設機能の確保・充実</u>を図ることとします。
②[小学校・中学校] ・ 既存施設の利活用を方針とする<u>早期改修</u>を進めることとします。 ・ 小中学校については、<u>個別改修とともに統合についても可能性検討</u>を行うこととします。 ・ 給食センターは、<u>小・中学校改修と併せ、早期に改善</u>を図ることとします。
③[高等学校] ・ 既存施設の利活用を方針とし、<u>計画的な修繕・改修</u>を実施することとします。

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

学校施設の実態を踏まえ、「現状の規模や機能を維持する学校」、「現状の規模や機能を維持しつつ、他の公共施設との複合化・共用化を検討する学校」、「統合等を検討する学校」の3つの方策に基づく学校施設別の具体的な活用方針を前提に、以下のとおりとします。

学校施設の規模・配置計画等の方針
①剣淵小学校及び剣淵中学校 ・本計画に基づく、小中学校既存施設の複合化や統合（一体化）を検討します。
②給食センター ・小中学校との複合化や統合（一体化）等を検討します。
③剣淵高校 ・校舎、屋体、寄宿舎は、計画修繕による施設活用を継続します。 ・農場施設は、学校農場活用方針に基づく、老朽化施設の改築や維持管理を継続します。



■学校施設別の具体的な活用方針の検討

学校活用の方策	対象学校	施設別の具体的な活用方針	
a. 現状の規模や機能を維持する学校施設	剣淵高校	校舎	計画修繕による施設活用を継続する
		屋体	
		寄宿舎	
		附帯施設	学校農場活用方針に基づく、老朽化施設の改築や維持管理を継続する
b. 現状の規模や機能を維持しつつ、他の公共施設との複合化・共用化を検討する学校	剣淵小学校 剣淵中学校	本計画に基づく、小中学校既存施設の複合化や統合を検討する	
c. 統合等を検討する学校			

② 改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

厳しい財政状況の下、従来の改築を基本とした老朽化対策では対応しきれないことから、長寿命化改修を行い、中長期的な維持管理等に関わるトータルコストの縮減や予算の平準化を進めます。

長寿命化改修の方針

【長寿命化改修の方針】

長寿命化改修の実施にあたっては、施設活用寿命の延命を目的として【長寿命化エコ改修】を取組方針とし、必要な機能と性能の全体的な改善を行います。

イ) 計画修繕周期に基づく経年劣化の機能・性能回復 〈計画修繕〉

長寿命化改修の実施も計画修繕周期に応じた対応は基本事項であり、以下の機能向上項目と重複する際には、連動した取組として実施します。

ロ) 学校教育や地域連携からの要求に対応するための機能向上 〈長寿命化改修〉

学校施設の目指すべき姿を実現目標とする学校教育や地域連携等の変化に対応できる機能向上を目的として実施します。

ハ) 地域気候特性や自然エネルギー活用に対応するための性能向上 〈エコ改修〉

現時点において求められる断熱性能や自然エネルギー活用による性能向上を目的としてエコ改修を実施します。

2) 目標使用年数、改修周期の設定

従来の保全状況によると、遅くとも 50～60 年を目途として建替えることを前提に、建物全体ではなく部分的な修繕を複数回にわたって実施するパターンとなっています。

今後は、施設の寿命が続く限りにおいて、既存施設を有効に活用することとなります。そのため、施設の目標使用年数は概ね 100 年と設定し、長寿命化改修の周期を築後 50 年、大規模改造の周期を 25 年間隔と設定することとします。

目標使用年数、改修周期の設定

○ 目標使用年数	:	100 年
○ 長寿命化改修の周期	:	50 年
○ 大規模改造の周期	:	25 年

(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

改修工事の実施にあたっては、学校施設の老朽化状況の実態を踏まえ、構造体の長寿命化や設備等の更新によって建物の耐久性を高めると共に、省エネ化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、社会的な要請や、本町教育活動の将来展望に応えることのできる改修を目指します。

改修の整備水準は本計画「(2) ③ 学校施設の目指すべき姿」を踏まえ、施設の基本的性能の向上を図ると共に、省エネやバリアフリー、防災・防犯などの機能と性能向上を図ることとし、長寿命化エコ改修を方針として、以下のとおりとします。

【長寿命化エコ改修等の整備水準】

■内外装の改修水準

項 目		長寿命エコ改修	長寿命化改修	現状の整備レベル
外部仕上	屋根屋上	外断熱防水	既存上の防水改修	シート防水＋コンクリート押エ
	外壁	高耐候外装	外壁塗装	外壁塗装
		外断熱	内断熱補強	
	外部開口部	高性能樹脂サッシ Low-E複層ガラス		アルミサッシ＋内窓樹脂サッシ
内部仕上	内部仕上げ	内装の全面撤去・更新 内装木質化・木床組・		既存
	便所	内装の全面撤去・更新		
設備	暖房	床暖房		FF暖房機
		地中熱HP	灯油	灯油

■長寿命化エコ改修の整備内容

項 目	整備空間・機能・性能
安全性	防災備蓄／自家発電／防犯監視／木床組
快適性	オープンスクール／交流空間／スロープ、エレベーター 内装木質化／便所ドライ化、多目的トイレ／外断熱、躯体蓄熱
学習活動への適応性	豊かな教室回り／多様な学習の場／ランチルーム／メディアセンター
環境への適応性	エネルギーの見える化／太陽光発電／LED照明／高断熱・高気密
地域の拠点化	地域開放／避難施設機能

② 維持管理の項目・手法等

今後の維持管理にあたっては、学校施設の維持管理を効果的・効率的に実施するための点検は、対象建物の躯体以外の劣化状況把握の際に使用した「劣化状況調査票」を点検項目として設定します。

点検は3年に1回（法定点検と同様）の実施とし、点検・評価の結果は、同「劣化状況調査票」に記入、データベースとして蓄積することにより将来の老朽化予測、改修検討に活用することとします。

部位ごとの更新年、改修周期の設定（（4）②2）目標使用年数、改修周期の設定）に基づき、目安として設定することとします※。

〔参考〕劣化状況調査票

通し番号	1	
学校名	剣淵小学校	学校番号 1616
建物名	校舎1	調査日 平成29年8月4日
棟番号	001・002-01	記入者 (株)アトリエアク
構造種別	RC	建築年度 昭和48 年度(1973 年度)
延床面積	2,791 m ²	階数 地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度 工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防カ ☒ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根()		☒ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☒ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☒ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	多数	パラベットが南側に傾いている	D
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁() ☒ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス	H27 一部改修	☐ 鉄筋が見えているところがある ☒ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☒ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		塗装の剥離は南側に多く見られる	C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☒ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☒ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☒ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☒ その他、内部改修工事	H24 H22 H21 H22	洋式化 トイレ、昇降機 アスベスト除去(集合煙突)	B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事	H27 H24	気中開閉器取り替え 太陽光発電電気設備設置工事	C
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事	H15	暖房機取り替え	C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)
平成4、5年:大規模改修

健全度
51 / 100点

※「建築物のライフサイクルコスト」(財団法人建築保全センター、平成17年)等を参考に設定

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

イ) 優先順位の考え方

■今後 10 年の重点的な取組み

今後 10 年間の取り組みは以下のとおりとします。

- ・ 今後の重点的な取組みは、〈小学校及び中学校の改修計画〉とします。
- ・ 学校及び町民協議を必要とし、十分な時間を必要とする地域課題として、段階的に進めることとします。
- ・ 小中学校協議に合わせ、給食センターの整備も進めることとします。

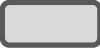
■その後 10 年間隔の取組

その後 10 年ごとの取組みは以下のとおりとします。

- ・ H40 年以降 ： 高校体育館及び寄宿舍の大規模改造
- ・ H50 年以降 ： 高校校舎の長寿命化改修
- ・ H60 年以降 ： 小中学校及び給食センターの大規模改造

■今後 40 年間の改修等実施計画

施設	改修等	H30	H40	H50	H60
小学校	長寿命化	長寿命化			大規模改造
中学校	長寿命化				
給食センター	改築	改築			大規模改造
高校	長寿命化 ・ 大規模改造			校舎 長寿命化	
			体育館 大規模改造		
			寄宿舍 大規模改造		寄宿舍 長寿命化

 : 点検の実施、経常修繕  : 長寿命化改修・改築  : 大規模改造

ロ) 計画期間内の実施計画

今後 10 年間の実施計画は、重点的な取組みである〈小学校及び中学校の改修計画〉を軸に取組むこととします。

- ・ 小学校及び中学校の改修

方針確定に向けた協議に早々に着手し、見通しを確定することとします。

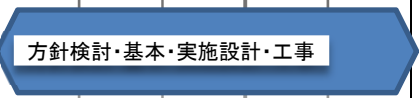
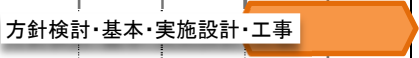
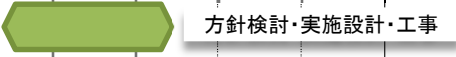
- ・ 高校校舎の外壁改修

大規模改造時期の取組として残されている校舎外壁改修に、早急に着手します。

- ・ 高校実習農場の改善

高校実験実習農場については、施設機能や配置等を検討し再整備します。

■ 今後 10 年間の改修等実施計画

施設	改修等	計画期間：平成 30～39									
		前期（平成 30～34）					後期（平成 35～39）				
小学校	長寿命化										
中学校	長寿命化										
給食センター	改築										
高校校舎	改修										
高校実験実習農場施設	改修										

② 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

今後の学校施設の維持・更新コストは、長寿命化改修への転換を図ったとしても年間 1 億円程度と見込まれ、事業費が大きな学校施設の整備は町財政において大きな負担となります。

小中学校、給食センターの老朽化は、早急な対応が不可欠であり、財政計画への反映が待たれます。

今後の学校施設の保全にあたっては、維持・更新コストの縮減を図る一方で、施設の配置、運営、活用面などについても検討し、学校施設保有施設面積の縮減を図るための見通しと効果を整理する必要があります。

(7) 長寿命化計画の継続的運用方針

① 情報基盤の整備と活用

情報等の整備は、検討に使用した文科省による学校長寿命化計画策定に係るエクセルソフトについて、過去の改修・交換履歴、故障の発生状況等をデータベースとして蓄積することとします。

今後は日常の点検・評価の結果及び、各年の「公立学校施設台帳」に基づいて適切に更新を図り、一元管理していくこととします。

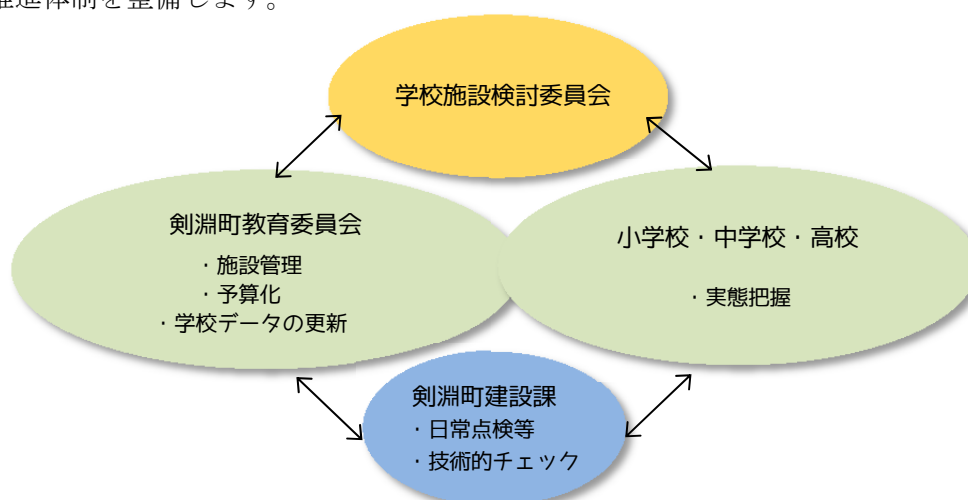
② 推進体制等の整備

1) PDCA サイクルの実現

計画の推進にあたっては、Plan（策定）→Do（実行）→Check（検証）→Action（見直し）→Plan（計画）という PDCA サイクルを実行し、無駄のない高効率の事業推進を目指します。

2) 推進体制の整備

本計画の推進に向け、本計画検討委員会を中心とした「学校施設検討委員会」を組織し、学校施設の所管課である剣淵町教育委員会とともに総合的かつ計画的な管理を実施するため、以下のような、推進体制を整備します。



③ フォローアップ

- ・本計画に基づき、具体的な個別計画を策定し、学校施設の整備を実施するとともに、定期的に施設の管理状況を評価することとします。
- ・計画については社会情勢の変化等に応じた見直しが必要なことから、概ね5年後の2022年頃に見直しを行うこととします。
- ・本計画の進捗状況については、議会や住民と情報を共有することとします。

計画のための建物情報 2017年度

目次

計画のための建物情報の整理	1
1. 学校施設の全体把握.....	1
調査1. 対象建物の整理.....	1
●出力データ①.....	2
●出力データ②.....	2
2. 老朽化状況の把握.....	3
調査2. 構造躯体の健全性の把握.....	3
調査3. 躯体以外の劣化状況の把握.....	4
(1) 剣淵小学校 校舎.....	4
(2) 剣淵小学校 体育館.....	6
(3) 剣淵中学校 校舎.....	8
(4) 剣淵中学校 体育館.....	10
(5) 剣淵高校 校舎.....	12
(6) 剣淵高校 体育館.....	14
(7) 剣淵高校 寄宿舍.....	16
(8) 剣淵町学校給食センター.....	18
3. 今後の維持・更新コストの把握.....	20
●出力データ③.....	20
●出力データ④.....	20

1. 学校施設の全体把握

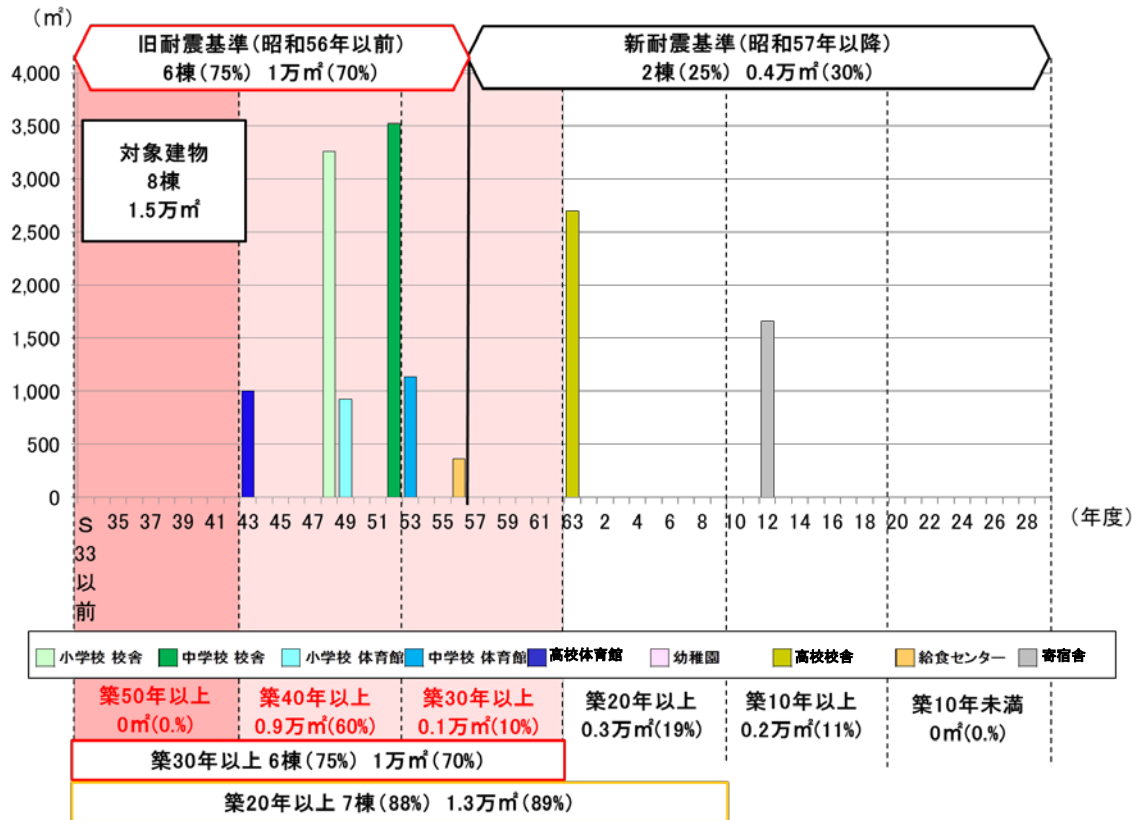
調査 1. 対象建物の整理

■建物改修履歴

- ・ 小学校校舎は、築20年を経過した平成4、5年に大規模改造、平成21年耐震改修を行っています。体育館も平成21年に耐震改修を行っています。
- ・ 中学校校舎は築20年を経過した平成6～8年に大規模改造、平成21年に耐震改修を行っています。体育館も平成21年に耐震改修を行っています。
- ・ 高校校舎は築後10年を経過した平成11～14年に外壁改修、平成27年には屋上の防水改修を行っています。体育館は耐震改修と長寿命化改修を平成23年に実施しています。寄宿舎の改修はまだ行っていませんが、平成24年に増築しています。
- ・ 給食センターは平成9年、26年、27年に部分改修をするほか、設備等の交換なども行っています。

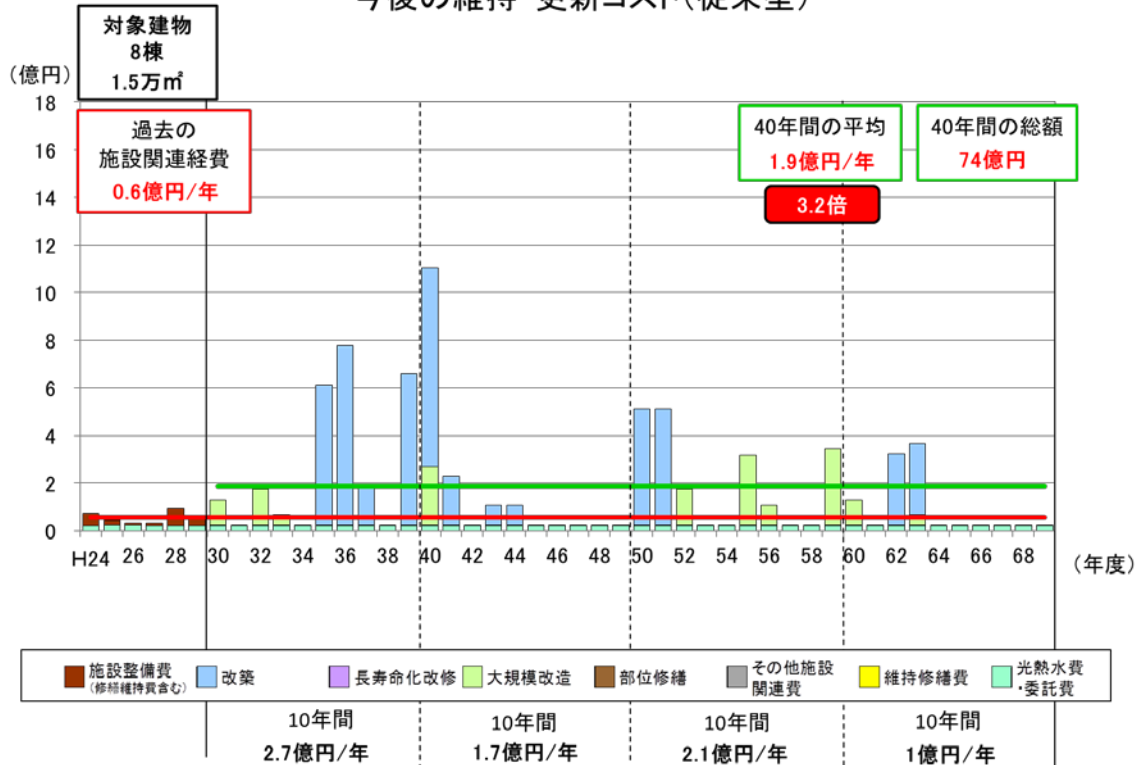
●出力データ①

築年別整備状況



●出力データ②

今後の維持・更新コスト(従来型)



2. 老朽化状況の把握

調査2. 構造躯体の健全性の把握

		:築50年以上		:築30年以上		基準		2017		構造躯体の健全性				
区分	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			
					西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分	
	校舎	RC	2	3,259	1973	S48	45	旧	済	済	H19	19.1	長寿命	
	体育館	S	2	923	1974	S49	43	旧	済	済	H19	22.2	長寿命	
	校舎	RC	3	3,523	1977	S52	40	旧	済	済	H19	20.5	長寿命	
	体育館	S	2	1,130	1978	S53	39	旧	済	済	H19		長寿命	
	校舎	RC	2	2,700	1988	S63	29	新	-	-			長寿命	
	体育館	S	2	998	1968	S43	49	旧	済	済	H20	寿命化改修済		
	寄宿舎	RC	2	1,658	2000	H12	17	新	-	-			長寿命	
	給食センター	S	1	362	1981	S56	36	旧	-	-			改築	

■構造躯体の健全性

- 旧耐震基準の建物が6棟あります。そのうち5棟（給食センター以外）は全て耐震診断、耐震補強を行い、安全性を確保しています。

調査3. 躯体以外の劣化状況の把握

(1) 剣淵小学校 校舎

通し番号	1	学校名	剣淵小学校	学校番号	1616	調査日	平成29年8月4日
建物名	校舎1	記入者	(株) アトリエアク	棟番号	001・002-01	建築年度	昭和48 年度(1973 年度)
構造種別	RC	延床面積	2,791 m ²	階数	地上 2 階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☒ 降雨時に雨漏りがある		パラペットが 南側に傾い ている	D
	☒ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水			☒ 防水層に膨れ・破れ等がある	多数		
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☒ 笠木・立上り等に損傷がある	多数		
	☐ その他の屋根 ()			☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない			
2 外壁	☒ 塗仕上げ	H27	一部改修	☐ 鉄筋が見えているところがある		塗装の剥離 は南側に多く 見られる	C
	☒ タイル張り、石張り			☒ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル			☒ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☒ タイルや石が剥がれている			
	☐ その他の外壁 ()			☐ 大きな亀裂がある			
	☒ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ			☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			B
	☐ エコ改修			
	☒ トイレ改修	H24	洋式化	
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☒ 障害児等対策	H22	トイレ、昇降機	
	☐ 防犯対策			
4 電気設備	☒ 構造体の耐震対策	H21		C
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☒ その他、内部改修工事	H22	アスベスト除去(集合煙突)	
	☐ 分電盤改修	H27	気中開閉器取り替え	
	☐ 配線等の敷設工事			
5 機械設備	☐ 昇降設備保守点検			C
	☐ その他、電気設備改修工事	H24	太陽光発電電気設備設置工事	
	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事	H15	暖房機取り替え	

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

平成4、5年:大規模改造

健全度

51 / 100点

- ・建設年度：昭和48（1973）～49（1974）年・築年数：45年
- ・平成4～5年度・大規模改造、平成21年度・耐震改修

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性					劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分					健全度(100点満点)	
旧	済	済	H19	19.1	長寿命	D	C	B	C	C	

51

H21年耐震改修

屋上



外壁



内部



(2) 剣淵小学校 体育館

通し番号	2						
学校名	剣淵小学校			学校番号	1616	調査日	平成29年8月4日
建物名	体育館				記入者	(株)アトリエアク	
棟番号	004			建築年度	昭和49 年度(1974 年度)		
構造種別	S	延床面積	923 m ²		階数	地上 2 階 地下 階	

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある 多数 ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			D
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス	H27	一部改修	☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある 8 ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		ブレースにさ びあり	C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☒ 構造体の耐震対策 H21 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			C
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	51 / 100点

- ・建設年度：昭和49（1974）年・築年数：43年
- ・平成21年度・耐震改修

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
旧	済	済	H19	22.2	長寿命	D	C	B	C	C	51	

屋上



外壁



(3) 剣淵中学校 校舎

通し番号	3				
学校名	剣淵中学校	学校番号	4499	調査日	平成29年8月4日
建物名	校舎			記入者	(株) アトリエアク
棟番号	002・003・011	建築年度	昭和52年度(1977年度)		
構造種別	RC	延床面積	3,523 m ²	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☒ 降雨時に雨漏りがある			B
	☒ アスファルト露出防水			☒ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水			☐ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☒ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☐ その他の屋根 ()			☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない			
2 外壁	☒ 塗仕上げ			☐ 鉄筋が見えているところがある			B
	☐ タイル張り、石張り			☒ 外壁から漏水がある	4		
	☐ 金属系パネル			☒ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ タイルや石が剥がれている			
	☐ その他の外壁 ()			☒ 大きな亀裂がある			
	☒ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ			☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			B
	☐ エコ改修			
	☒ トイレ改修	H28.29	洋式化、多目的トイレ	
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☒ 構造体の耐震対策	H21		
	☐ 非構造部材の耐震対策			
4 電気設備	☐ 分電盤改修			C
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修			C
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☒ その他、機械設備改修工事	H21	暖房機更新	

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

H6～8、大規模改造

健全度
66 / 100点

- ・建設年度：昭和52（1977）年・築年数：45年
- ・平成6～8年度・大規模改修、平成21年度・耐震改修、平成28年度～・トイレ改修

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
旧	済	済	H19	20.5	長寿命	B	B	B	C	C	66	

屋上



外壁



内部



(4) 剣淵中学校 体育館

通し番号	4				
学校名	剣淵中学校	学校番号	4499	調査日	平成29年8月4日
建物名	体育館			記入者	(株)アトリエアク
棟番号	005	建築年度	昭和53 年度(1978 年度)		
構造種別	S	延床面積	1,130 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	多数		C
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☒ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		ブレースにさ びあり	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☒ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事	H21		B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			B
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			B

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	72 / 100点

- ・建設年度：昭和53（1978）年・築年数：39年
- ・平成16～17年度・外壁塗替、平成23年度・耐震改修、平成25年度・トイレ改修

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
旧	済	済	H19		長寿命	C	B	B	B	B	72	

屋根



外壁



(5) 剣淵高校 校舎

通し番号	5				
学校名	剣淵高等学校	学校番号	5746	調査日	平成29年8月4日
建物名	校舎			記入者	(株)アトリエアク
棟番号	025・027			建築年度	昭和63 年度(1988 年度)
構造種別	RC	延床面積	2,700 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水	H27	ウレタン塗膜防水	☐ 降雨時に雨漏りがある			A
	☐ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☒ シート防水、塗膜防水	H23	取り替え	☐ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☐ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☒ その他の屋根 (トップライト)			☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない			
				☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☒ 塗仕上げ	H11	吹付タイル	☐ 鉄筋が見えているところがある		ガラスブロックコーキング部分劣化箇所有り タイル部分、白華箇所有り	D
	☒ タイル張り、石張り	H11	防水処理	☒ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル			☐ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☒ タイルや石が剥がれている	多数		
	☐ その他の外壁 ()			☒ 大きな亀裂がある			
	☐ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ			☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			B
	☐ エコ改修			
	☒ トイレ改修	H27、H2	洋式化	
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☒ その他、内部改修工事	H20	介護実習室改修	
4 電気設備	☒ 分電盤改修	H11	キュービクル	B
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修			B
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☒ その他、機械設備改修工事	H11、H16、H2	H11冷房機、H16暖房機取替、H23給油埋設管敷設替え	

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	58 / 100点

- ・建設年度：昭和63（1988）年・築年数：29年
- ・平成11～14・外壁改修、平成27、29年度・屋上防水改修、トイレ改修

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価					備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分					健全度(100点満点)	
新	-	-			長寿命	A	D	B	B	B	

外壁



内部



(6) 剣淵高校 体育館

通し番号	6				
学校名	剣淵高等学校	学校番号	5746	調査日	平成29年8月4日
建物名	体育館			記入者	(株) アトリエアキ
棟番号	021・026	建築年度	昭和43 年度(1968 年度)		
構造種別	S	延床面積	998 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			A
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス	H16~17	再塗装	☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		ブレースにさ び	A

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☒ エコ改修 ☒ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☒ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事	H26 H25 H23	照明のLED化 洋式化、多目的トイレ設置	B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			B
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			B

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	84 / 100点

- ・建設年度：昭和43（1968）年・築年数：49年
- ・平成23年度・耐震改修＋長寿命化改修、平成25年度・トイレ改修、照明LED化

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
旧	済	済	H20	寿命化改修済								
						A	A	B	B	B	84	H23耐震＋長寿命化改修済



(7) 剣淵高校 寄宿舎

通し番号	7				
学校名	剣淵高等学校	学校番号	5746	調査日	平成29年9月27日
建物名	寄宿舎			記入者	(株)アトリエアク
棟番号	039・041-1・2・3・042	建築年度	平成12年度(2000年度)		
構造種別	RC	延床面積	1,658 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある		H24増築	B
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☒ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☒ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある	1	外壁クラック 数箇所あり	B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			A
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			A
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			A

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	91 / 100点

- ・建設年度：平成12（2000）年・築年数：17年
- ・平成25年度・増築

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91	

屋上



外壁



開口部



内部



(8) 剣淵町学校給食センター

通し番号	8				
学校名	剣淵町学校給食センター	学校番号	K092	調査日	平成29年8月4日
建物名	共同利用施設			記入者	(株)アトリエアク
棟番号	001・002		建築年度	昭和56年度(1981年度)	
構造種別	S	延床面積	362 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()	H26	一部改修	☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☒ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			D
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		煙突廻りの劣化が激しい危険でもある	C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井)	☐ 老朽改修			B
(内部建具)	☒ エコ改修	H28	内窓ブラスト	
(間仕切等)	☒ トイレ改修	H27	洋式化	
(照明器具)	☐ 法令適合			
(エアコン)等	☐ 校内LAN			
	☒ 空調設置	H28	配送車庫エアコン設置	
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			D
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☒ その他、内部改修工事	H9	増築	
4 電気設備	☒ 分電盤改修	H18	動力盤、キュービクル盤	D
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☒ 給水配管改修	H6,20,21	改修と更新	D
	☒ 排水配管改修	H6,10	改修、蒸気配管取替	
	☐ 消防設備の点検			
	☒ その他、機械設備改修工事	H28	アスベスト囲い込(煙突設置)	

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

H6蒸気ボイラー入替

健全度
43 / 100点

- ・建設年度：昭和56（1981）年・築年数：36年
- ・平成6、10、18、20、25年度・改修・機器更新等、平成28年度・煙突改修等

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
旧	-	-			改築							
						D	C	B	D	D	43	



3. 今後の維持・更新コストの把握

●出力データ③

築50年以上										築30年以上		基準		2017		A:概ね良好										C:広範囲に劣化	
																B:部分的に劣化										D:早急に対応する必要がある	
構造躯体の健全性										劣化状況評価										備考							
構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)										
			西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分																
RC	2	3,259	1973	S48	45	旧	済	済	H19	19.1	長寿命	D	C	B	C	C	51	H21年耐震改修									
S	2	923	1974	S49	43	旧	済	済	H19	22.2	長寿命	D	C	B	C	C	51	H21年耐震改修									
RC	3	3,523	1977	S52	40	旧	済	済	H19	20.5	長寿命	B	B	B	C	C	66	H21年耐震改修									
S	2	1,130	1978	S53	39	旧	済	済	H19		長寿命	C	B	B	B	B	72	H21年耐震改修									
RC	2	2,700	1988	S63	29	新	-	-			長寿命	A	D	B	B	B	59										
S	2	998	1968	S43	49	旧	済	済	H20	寿命化改修済		A	A	B	B	B	84	H23耐震+長									
RC	2	1,658	2000	H12	17	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91	H24年増築									
S	1	362	1981	S56	36	旧	-	-			改築	D	C	B	D	D	43										



●出力データ④

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

